

平成 31 年度 DPC 機能評価係数Ⅱの改定について（案）

1. 概要

- DPC 対象病院の機能評価係数Ⅱは診療実績データに基づき毎年改定しており、平成 31 年 4 月に次回改定を予定している。平成 31 年度の機能評価係数Ⅱの設定にあたっては、平成 29 年 10 月から平成 30 年 9 月までの 12 ヶ月分の診療実績データを使用する。
- 過去に、東日本大震災及び熊本地震で被災した病院について、機能評価係数Ⅱの設定にあたり一定の配慮を行っている。
- 平成 31 年度の機能評価係数Ⅱの設定にあたっては、平成 29 年 10 月以降に発生した災害に被災した病院について、過去の事例を踏まえた対応としてはどうか。

2. 対応方針（案）

（1）対象とする病院

- 対象は以下の通りとしてはどうか。

災害	災害発生時期	主な被災地域	対象病院数
大阪北部地震	平成 30 年 6 月 18 日	12 市 1 町	80
西日本豪雨	平成 30 年 6 月下旬 ～ 7 月上旬	11 府県（67 市 39 町 4 村）	142
北海道胆振 東部地震	平成 30 年 9 月 6 日	179 市町村	94

（2）具体的な対応

- 診療実績に基づく指数（効率性指数、複雑性指数、カバー率指数、救急医療指数、地域医療指数）は、当該病院の診療実績データについて、
  - ・通常と同様の取扱いとした場合（平成 29 年 10 月から平成 30 年 9 月の診療実績データを使用）
  - ・それぞれの病院が被災した災害の発生時期を含む月の診療実績データをそれ以外の月の診療実績データの平均値に置き換えて算出した場合を比較してより高い値に基づき算出してはどうか。